

令和3年度 第2回豊中市生活支援サービス部会 議事録

令和4年(2022年)2月18日(金)

午後2時～午後3時10分

第二庁舎3階大会議室及びWEB

《出席状況》 豊中市生活支援サービス部会員5名中5名出席

豊中市生活支援サービス部会
---------------

◎大野委員、秦委員、今井委員、村上委員、樋口委員
--------------------------

(◎=部会長 委員名簿順)

事務局
-----

福祉部：甲斐次長兼福祉指導監査課長
-------------------

地域共生課：佐野課長

長寿安心課：井上課長補佐

長寿社会政策課：堂本課長、山岸課長補佐、伊藤副主幹、溝田、小林、中根

豊中市社会福祉協議会：勝部室長、佐藤課長
----------------------

《傍聴者》0名

□議題

(1) 令和3年度生活支援コーディネーター活動報告について【資料1】

(2) 令和4年度生活支援コーディネーター活動計画(案)について【資料2】

□議事内容

事務局

それでは、定刻になりましたので、令和3年度第2回豊中市生活支援サービス部会を始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。

本日の出席状況を報告いたします。部会員5名、全員ご出席いただいています。したがって、要綱で定める部会員数の過半数を超えておりますので、本日の会議は成立しております。

本日もウェブ会議と会場の両方での開催となります。

【WEBの説明、資料確認】

部会長

皆様、こんにちは。生活支援サービス部会を開催させていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

それでは議題1の、令和3年度生活支援コーディネーター活動報告について事務局よりご説明をお願いいたします。

議案1

■令和3年度生活支援コーディネーター活動報告について

【資料1】「令和3年度生活支援コーディネーター事業報告」の説明

事務局

かなり多種多様な活動についてのご説明がありましたが、何かご質問やご意見はございますでしょうか。

部会長

今いろいろな活動をご紹介いただきまして、お針箱はサポートするほうが待ってますというような状況であるということでしたが、それぞれの活動の需要と供給といえますか、こういったニーズを持っておられる方と、それからそれをサポートする側のバランスというのは大体うまくいっている感じなんですか。そして、この活動がこっちのほうが足りないとかあるんでしょうか。

事務局

人材という面でいうと、安心サポーターの方は、この間、養成研修もしています。このメンバーさんは福祉便利屋事業で、例えば粗大ごみを捨てたいとか家具を動かしたいといったニーズや、ごみ捨ての支援で動いていただく方になってはいますが、それが地域的にたくさんいるところとそうでないところが出てきているので、その難しさというか、需要と供給がちょっと合わないというような面が多少あることと、大きいもの、重たいものを動かすというご依頼が少し多めになるので、男性や若い人が本当はもうちょっと協力してもらえたらなというのがあります。そこは別の事業でこちらに関わっているひきこもり経験のある若者たちに協力してもらったりしていますが、協力してくれる人がたくさんいればなというところはあります。

部会長

なかなか若い人で、かつ男性という層には、こういう情報が届きにくかったり、あるいは時間的にも対応がなかなか難しいというところがあるのかもしれないね。ひきこもりの方とかで、こういったことをお手伝いして下さるようには持っていくのはすごく大変だと思うんです。そんなにどんどん、じゃあ自分もやります、私もやりますとはならないのかなと思うんですが、そこまで持っていくまでの関わりや様子を教えていただけますか。

事務局

私たちのところでは、生活困窮者自立支援法の一環で、この事業の中でも8年、ひきこもりの経験のある方々の支援をサポートしていきまして、全体でいうと、もう200人近い方々と出会ってきています。100人ぐらいの方は居場所まで来られるようになって、そこから就労などに結びつけていく、外に出られるようになって就労体験をして、そして就労準備、就労、という、そういった流れの一環の就労体験のような場面で、これらの便利屋事業の取組みなどを高齢者の方々と一緒に行っていただきます。指示をしてくださる方と実際に体を動かせる人とペアで動くというようなやり方をしていく中で、成果を上げてきている面もあります。

ひきこもりの若者たちは重いものを持てるというだけで地域の人たちから感謝してもらえるというところで、自己肯定感が上がっていくというか、人から褒められたり感謝されるということがすごく大きな力になっていますし、これ以外にも子供たちへの学習支援、子ども食堂は今できませんので、学習支援などの場に高学歴のドロップアウトしているような、ひきこもりの若者たちが協力してくれています。先日その中の一人が自分の行く末をいろいろ悩んでいたんですが、子供に関わる自分が得意だったんだということに気づけて、そういう道を目指すということで進路変更して、前向きに頑張ろうという気持ちになった、ということもありますので、担い手ということだけではなく、社会参加という形でいろんな人たちと出会っていくという意味合いでも、とても重要なことだと思ってやっております。

ちなみに、あぐりパークでも、若者たちには、あぐりの定年後の男性と一緒に野菜づくりや水やりといったところでも協力してもらっていきまして、いろんな人たちと出会って、コラボレーションしながらサポートしているという状況です。

部会長

ありがとうございます。

非常に興味深いお話で聞いていて楽しくなりましたが、困っている人とサポートする人という、そういう切り口だけでなく、そこに参加することがその人にとっての本当に広い意味合いを持つところにもつながるということですね。一般的に言うと、ひきこもり当事者というのはサポートを必要としている側、サポートされる側というイメージだったと思うんですが、そういうふうな分け方をせずに、人材というのを広く捉えてられる。この人はサポートを受ける側だから違うよねではなく、広く捉えるところがすごくいいなと思って今伺っておりました。ありがとうございます。

ところで、シークァーサーでビールってできるんですね。初めて知りました。

事務局

多分あまりないものだと思いますが、豊中市と沖縄市が兄弟都市でして、何か沖縄とのつながりのあるものができないかなということで、沖縄から持ってこられたシークァーサーの木が本島では最北端で咲いているそうなんです、それをあぐりの方々と一緒に育てていきまして、それを使って今回お試しでやってみたということなんです。おいしいのでぜひ会員になってください。

部会長

これはこういう何かビール会員とか焼酎会員というのがあるのですか。

事務局

あぐりの活動で野菜作りに直接関与するという人だけじゃなく、お酒を飲むことが好きな人も、社会参加の入り口としてこういう活動を知っていただいて、そこから仲間に

なっただけ。福祉から入り口にしていくと、どうしてもハードルが高いので、多様な活動を皆さんに、敷居の低い、ちょっと買うとか、そういうことに関心を持ってみるというところを入り口にして、皆さんとつながっていったらいいなど、そんな思いで考えたものです。コロナでつまらないことが多いので、少し楽しいことをいろいろと計画して、皆さんと少し楽しい時間を過ごせたらいいなと考えたものです。

部会員 非常に多種多様な活動をされておられることがすごくよく分かって勉強になり感心いたしました。

すごく瑣末なことなのですが、生活支援コーディネーターニュースで、「サービス付高齢者住宅」となっていました。もしサ高住のことを指すのであれば、「サービス付高齢者向け」という言葉が入るかと思っておりますので、きちっと書かれたほうがいいのかという気がいたしました。

事務局 すみません。まだこれは校正中のものを出してしまいました。失礼いたしました。ご指摘ありがとうございます。

部会長 では、そこについては校正で、文言の修正ということですね。

ほかに何かございますか。よろしいでしょうか。

そうでしたら、次の議題に進ませていただきたいと思います。

議題の2の令和4年度生活支援コーディネーター活動計画（案）について事務局よりご説明をお願いいたします。

## 議案2

■令和4年度生活支援コーディネーター活動計画（案）について

事務局 【資料2】「令和4年度（2022年度）生活支援コーディネーター活動計画（案）」の説明

部会長 基本的には、これまでの活動をしっかり踏襲しながらということ、ただコロナ禍が続きますから、屋外の活動とか、そういったことをいかに上手に取り入れていけるか。あと、楽しい活動というところですね。そういう工夫みたいなところも検討されているということだったでしょうか。

皆様から何かご質問とか、もう少し詳しく聞きたいなどというのはないでしょうか。

部会員 昨日の事前説明のときにちょっと気になったんですが、あぐりパーク、すごくいいなと思いました。どこにあるのでしょうか。岡町南ってどのあたりなんですか。

事務局 11号池田線、阪神高速沿いにあります。ドンキホーテがあるところですけど、その向いにあります。ドッグセンターの裏です。

これまでの畑は野菜作りがメインだったんですが、ここは田んぼで遊べることをメインに考えていますので、5月にはレンゲ畑ができる予定ですし、お芋も作ります。お芋掘りは子ども食堂の皆さんたちや、外国にルーツのある皆さんたち、今回、貸付けでたくさんの外国人の方々や、コロナの影響で困窮されている方々とたくさん出会いましたので、そういう方々もお芋掘りにご招待をして、地域共生ファームとしていろんな方々が出会えるような場所として今後も使っていきたいと考えています。

将来的には各校区でこういう場所ができて、それぞれの地区で交流ができるようになればいいなと思っております。楽しいイベントを次々組んで募集をしたりしておりますのでご覧ください。よろしく申し上げます。

部会長

ありがとうございます。

先ほど移動のローソンをサ高住の駐車場でされているということでしたが、こういったことに協力してくださるところというのは、結構見つかるものなんではないでしょうか。

事務局

社会福祉協議会では社会福祉施設の連絡会というのもありますし、それから第1層の協議体の中には介護保険の事業者連絡会も入っております、そういうところで情報提供をさせていただいたり、それからネットワーク会議というのを年に2回、定期ごとの会合をやらせていただいている際に情報提供させていただくと、例えばあぐりの土地もうちの使っていない特養の裏の空き地、空き庭といいますか、そこを管理するのが大変だから、無償で貸してあげるから、何か好きにきれいにしてくださいというふうなお話が出てきたり、有料老人ホームの屋上を今までは業者さんに手入れしてもらっていたけれども、あぐりさんで無償で提供するので、楽しい野菜作りを利用者と一緒にやってくださいといったお話が出てきたり、それから駐車場を使って行うという話をすると、実はスタッフの皆さんもお買物に連れていくのが結構人手がかかるということと、毎回何人かずつしか連れていけないということがあるので、非常にお困りなことが多いんですね。

移動販売車を私たちのほうで派遣調整できますとお伝えすると、そしたら利用者もそこで買物ができて、駐車場というのは大抵どこの福祉施設もお持ちですので、そこを使って、周りの方々にもお越しいただくと地域貢献にもなると思うので、非常にやりやすい地域貢献の形ということで皆さんとウイン・ウインの感じができますので、喜んでいただいていることが多いかなと思っております。ますます広げていきたいなと思っております。

部会長

地域にニーズがあるし、場所の確保というのも何とかできそうであると。あとは、じゃあそういうローソンさんの車とかをどうやって手配して、一定の採算みたいなものもあるんでしょうか。そのあたりのことが課題となってくるという感じですか。

事務局

そうですね。福祉施設もそれこそ周りにたくさんお店があるようなところだと、なかなかニーズのところでは難しいとは思いますが、周りにお店が少なく、一般住民の方もお買物に困ってらっしゃるというような地域ですと、そこで何か始めたいということについてはお互いにやってみようというような話になりますが、PRのところを実は校区福祉委員会の皆さんが協力してくださっています。回覧を回していただいたり、ポスターを貼っていただいたり、集客のところの協力があるからこそ継続できるというところがありますので、そこがとても重要ななと思っております。

ただ、コロナになりまして、外部と接触させることもままならない福祉施設も出てきておまして、そこで交流できていた部分も、少し危ないから利用者だけに制限をかせせてもらって外部の方はやめましょうかという話が、一部の地区では出てきておまして、なかなか難しいなと思っております。感染が拡大してクラスターなどが発

生することを考えると危ないかなというところではありますが、新しいやり方としてとても面白い事業になるのではないかなと思っています。

部会長

そうですね。なかなかもう本当にコロナ次第というところがあるわけですね。

部会員

先ほど高齢者施設と連携を取ってというところで、本当に今コロナで通所介護やデイサービスも閉まっていったような状況が非常に多いんですね。今後コロナが明けて、地域の方とご利用者の皆様と、そういう社会福祉協議会様がされているような活動と連携して、皆様の日中の活動の幅が広がるような活動が連携してできていけば、今後高齢化がもっと拡大していく中で、皆様の日常が生活圏域上で生きがいや活動が広がっていくイメージもありますし、本当にどんどんそういったところで協力体制を持っていければいいなと思っております。

部会員

必ずしも単年度単位で活動されているわけではなく、これまでの積み重ねがあって、そんな中でもそれぞれの事業ごとに評価されて、事業ごとの課題を一番右端のところから抽出されているところがとても分かりやすかったですし、理にかなっているなという感じで、ずっと聞かせていただいておりました。ありがとうございます。

住民の意識の醸成のところ、コミュニティ創りの創りを創造の創という字を使っておられて、すごく大切に考えておられるなということも伝わってまいりました。

部会長

ありがとうございました。

そうしましたら、今の報告につきましては、これで特段ご意見の追加なしということでもよろしいでしょうか。ありがとうございました。

今日の議題はこれで全て終わったかと思いますが、事務局のほうから何かございますか。

事務局

次回の開催ですが、まだ日程が確定しておりませんので、確定次第ご連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。

部会長

ありがとうございます。

そうしましたら、今日は短時間でシンプルにという感じですが、これで生活支援サービス部会を終了させていただきます。